

人権だより

No.2 発行日 R2.6.19



今月の人権標語

認め合おう 人の数だけある個性



学校も再開し、皆さんの生活もようやく活気と落ち着きを取り戻し始めた頃ではないでしょうか。今月は人権・同和教育ホームルーム活動も予定されています。これを機会に人権問題に目を向け、私たちの生活を見直すきっかけにしてもらえたらと思います。今月のコラムは武内先生に書いていただきました。皆さんの感想や意見をお待ちしています。

「copresence」の意義

国語科 武内 大和

長らく続いた休業にもようやく再開のめどがつき、以前の学校の賑わいを感じられるようになりました。今回のような臨時休業は前例のないことであり、様々な悩みを抱えた人も多かったと思いますが、決して負の側面だけではなかったはず。各家庭で家族と貴重な時間を過ごせたこと、なかなか会えない友人達と過ごす時間の重要性を実感できたことなど、「人と人のつながり」を考えさせられる時間であったと捉えることもできるのではないのでしょうか。

「人と人のつながり」は言うまでもなく私たち人間社会の不変のテーマです。哲学者の鷲田清一氏が大阪大学総長を務めていた際に、卒業生への式辞として次のようなことを語っておられます。

阪神淡路大震災のときに、わたしは当時神戸大学の付属病院に勤務しておられた精神科医の中井久夫先生から一つの言葉を教わりました。copresence という言葉です。中井先生はこの言葉を「いてくれること」と訳し、他人の copresence が被災の現場でいかに重い意味を持つかを説かれました。

被災直後、中井先生は地方の医師たちに救援の要請をなさいました。全国から多くの医師が駆けつけたのですが、中井先生はじめ神戸大学のスタッフが患者さんにかかりつきり、応援団になかなか交替のチャンスが回ってこない。そのうちあまりに長い待機時間に小さな不満が上がりはじめたとき、中井先生はその医師たちに集まってもらい、「予備軍がいてくれるからこそ、我々は余力を残さず、使い切ることができる」と語りはじめました。そして、「その場にいてくれる」というただそれだけのことが自分たちのチームにとってどれほどポジティブな意味を持つかを訴えられたのです。

「その場にいてくれる」という copresence がどれだけ人に勇気を与え、支えるか。具体的なのはたらきかけやアドバイスだけが人を助けているわけではありません。ふと日常を振り返ってみると、そのような「その場にいてくれる」存在に救われていることもあるのではないのでしょうか。

私も、そのような存在への感謝を持つとともに、自分自身が copresence を果たせる人間でありたいと思っています。

☆ みんなの声 ～前回の人権だよりを読んで～ ☆

<生徒からの声>

- 今、現代文で「自明性」について学んでいますが、「自分にとっての当たり前が、他の誰かにとっても当たり前だとは限らない」ため、違いを認め合える心を持ちたいです。
- 最近新型コロナウイルス感染症による差別などの問題がよく起こっています。ネット上の書き込みは、匿名だからよいというわけではありません。一人ひとりが相手のことを考え、SNS を使用する際には、一度、自分で考えてから、送信する必要があると強く思います。
- 国籍や人種を越えて、それぞれの文化やいろいろなものを認め合うことは大切だと思いました。今の世の中には様々な価値観があるので、それらを認め合って、良い関係を築いていきたいです。
- 自分を生かし、他者を生かすことが大切だと理解しました。
- お互いの違いを認めて支え合うことが大切だと感じました。南高も「ONE TEAM」で頑張っていきたいと思います。

<保護者からの声>

- 新型コロナウイルス感染症の流行による混乱・不安や、規制された生活でストレスを感じている今、一人ひとりの人間力が問われていると感じます。ラグビーのチームスローガン「ONE TEAM」のごとく、お互いを思い、目標に向かって心一つに戦えるよう努力していきたいと思いました。
- 新型コロナウイルス感染症を通して、差別や偏見について考えさせられることがたくさんありました。見えないウイルスに対する恐怖から、感染された方に心ない言葉をかけてしまったり、SNS への書き込み等、誤った情報に振り回されたりしないよう、冷静に判断できる力を身に付けることが大切だと思います。そして、感染リスクは誰にでもあり、他人事ではありませんので、相手を思いやる心を持ち続けてほしいと思います。

きりとり

【保護者用】

今月の人権だよりを讀んでの感想をお願いします。

※締切り 6月26日 (金)

() 年 保護者

きりとり

【生徒用】

今月の人権だよりを讀んでの感想をお願いします。

※締切り 6月26日 (金)

() 年 () 組
